

わたしたちの鹿児島、
わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.

》 外来種から鹿児島県の生物多様性を守るために

鹿児島県は南北 600km にも及ぶ県土や 3 つの気候帯を有しています。また、渡瀬線を挟んだ 2 つの生物地理区に属しており、鹿児島県の多くの島々には、固有種、希少種が生息・生育し、独特な生態系が存在します。このため、動植物が持ち込まれることで、生態系に影響を及ぼす侵略的外来種となる場合があります。

世界自然遺産登録を目指す奄美大島や徳之島のある奄美群島でも、外来種が野生化し定着することで、生態系への被害やそのおそれが生じています。

これらのことを十分に理解し、安易に島へ動植物を持ち込むことのないようにしましょう。

外来種被害予防3原則

入れない

悪影響を及ぼすおそれのある
外来種を自然分布域から
非分布域へ「入れない」。



捨てない

飼養・栽培している
外来種を適切に管理し、
「捨てない」。



拡げない

既に野外にいる外来種を
他地域に「拡げない」。



緊急防除種 自シロシビアカ自ミカド (自PPOカマ)

緊急対策外来種 アフリカハマゲルマ

》 外来種は悪者なの？

外来種は、意図的又は非意図的に自然分布域外に持ち込まれた生物です。被害を受ける在来種同様、生態系や人の生活環境への被害を防止するために防除される侵略的外来種もまた「被害者」です。そのことを理解し、自らが新たな外来種問題の原因者とならないよう十分に気をつけましょう。

本県の外来種の詳しい情報については！ [鹿児島県 外来種](#)

鹿児島県の外来種の詳しい情報については、鹿児島県のホームページをご覧ください。

URL <http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html>



鹿児島県にお住まいの方向け アフリカツメガエル 防除マニュアル

→ アフリカツメガエルは、「指定外来動植物による鹿児島の生態系に係る被害の防止に関する条例」で指定外来動植物に指定されています。



アフリカツメガエルってこんな生き物

アフリカツメガエル

学名 : *Xenopus laevis*

▶ 南アフリカ原産
 ビバ科
 環境省カテゴリー：その他の総合対策外来種

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
活動	[活動期間]											
オタマジャクシ												
タモ網												
かごわな												

形態

体長 5～10cm のカエルです。背腹方向に扁平な体型で、まぶたと舌がなく、後足の水かきが発達しています。オタマジャクシは体が半透明で、1対のヒゲを持っています。

生態

基本的に陸地上がることは無く、全生活を水中で過ごすカエルです。幼生は動物プランクトンを、変態後は水生昆虫などの小動物を捕食します。無加温で越冬可能です。



体長 (5~10cm)

繁殖

原産地では、雨季に水中で産卵します。卵は直径 1mm 程度で、雌は一度に 500～3,000 個程の粘着卵を産みます。

後足

後足には水かきが発達し、5本ある後足の指のうち内側の3本(人間なら親指～中指)は、爪状の角質層が発達していて、これがアフリカツメガエルの名前の由来となっています。

アフリカツメガエルによる影響

水生昆虫、巻貝、小魚などをはじめとする水生生物を大量に捕食するため、これらの生物が減少することがあります。



捕獲されたアフリカツメガエル

アフリカツメガエルの防除方法

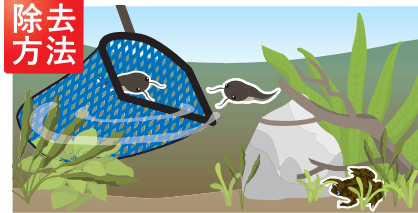
ここをチェック!

主な生息地 湖沼や池などの止水域

タモ網

時期 ● 5～7月

除去方法



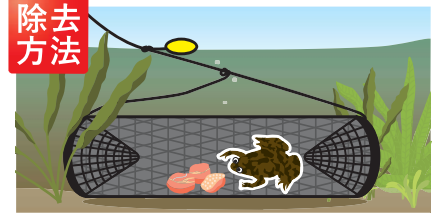
タモ網を用いて、泳いでいるオタマジャクシを狙ってすくう

また、水草の中や石の下に変態したばかりの小さいカエルが隠れているので追い出して捕まえる

廃棄方法



除去方法



夜、とり肉やレバーをエサにしたかごわなを水中に沈め、引き上げて中に入ったカエルを回収する

ビニール袋に入れて冷凍した後、土に埋めるなどする

根絶までの流れ

オタマジャクシの時期は、タモ網による除去を繰り返し行いましょう。かごわなは、1年中根気強く仕掛け続けましょう。

よく似た在来種

ナマズ

在来の類似種はいませんが、アフリカツメガエルの幼生は、ナマズの幼魚にやや似ています。



ナマズ(幼魚)



アフリカツメガエル(幼生)

間違えないように気を付けましょう!

